

申請される方は、貼り付け済みの本台紙のコピーをとり、お手元に大切に保管して下さい。

セロハンテープで貼り付けて下さい。

- ※ 公社で申請を受け付けた時点で有効期限内であること
 - ※ 記載内容がはっきりと確認できるものであること
 - ※ 現住所・氏名の記載があること
 - ※ 氏名と住所が記載された面（ページ）が分かれている場合は、両方の面（ページ）の写しが必要です。
 - ※ 日本で発行されたものであること
 - ※ **健康保険証の保健所番号、記号・番号、二次元コードはマスキングすること。**
- 例）マイナンバー個人番号カードの個人番号

マスキングの例

健康保険 被保険者証		本人（被保険者）		○○○年○○月○○日交付	
記号		番号		[Redacted]	
氏名		■■■■ ■■■■			
生年月日		□□ □□			
性別		□□ ○○年○○月○○日			
資格取得年月日		△			
事業所所在地		○○年○○月○○日			
事業所名称		□□ 会社			
保険者番号		[Redacted]			
保険者名称		全国健康保険協会 □□支部			
保険者所在地		□□市□□町□□丁目□□番地			

※この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とし、縦位置とする。

対象設備 領収書(写し)貼り付け台紙

申請される方は、貼り付け済みの本台紙のコピーをとり、お手元に大切に保管して下さい。

○対象設備 領収書（写し）貼り付け欄

※ 用紙サイズが A4 でない場合は本台紙をご利用ください。

●当該設備の購買を証明するため、「領収書」を提出してください。

※ クレジットカード・ローン払いによる場合についても、販売店が発行した領収書など対象設備の購買を証明する書類を作成してください。

セロハンテープで貼り付けて下さい。

No. _____

領 収 書

①
____ 〇〇 △△ 様

金額
② ￥ * , * * * , * * *

上記の金額正に領収いたしました。

但し、太陽熱利用システムの機器費と工事費として

代表取締役 役員

③ 領収日 令和〇年 △月□日
④ 〇×〇×株式会社 東京営業所
営業所長 太陽熱 光
⑤

以下の内容がはっきり確認できる写しをご提出ください。

- ① 宛名（助成申請者名であること）
- ② 領収金額
- ③ 領収日
- ④ 発行者（販売事業者）名
- ⑤ 発行者（販売事業者）捺印

※領収書と併せて、販売事業者が作成した「対象設備に関する領収書内訳について」を必ず添付してください。

※ クレジット支払いである事が明確でない場合（但書の記載が「立替払い」となっている等）は、併せてクレジットの契約書等の写しが必要です。また電子領収書の場合は、電子領収書であることを明記してください。

※この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とし、縦位置とする。

対象設備 保証書(写し)貼り付け台紙

申請される方は、貼り付け済みの本台紙のコピーをとり、お手元に大切に保管して下さい。

○対象設備 保証書(写し) 貼り付け欄

※用紙サイズが A4 でない場合は本台紙をご利用ください。

- 購入時又は設置時に受領した保証書の内容を確認の上、コピーを貼り付けてください。
- 対象機器メーカー名、システム型番、製造番号がはっきりわかるようにコピーして、貼り付けてください。

ソーラーシステム工事保証書 (お客様様)			
※本保証書は販売店・工事店が必要事項をもしなく記入、捺印する事により効力を生じます。			
機器組合せ 名称・型式	SSS-000		
使用適合 機種	品名	集熱器	
	型式名	×××-0000	
	数量	× 枚	
製造番号	AA-00123	AA-01230	AA-12300
	製造番号		010001
保証期間	5 年		
お引渡年月日	20××年○月○日		
お客様	ご芳名	東京 花子	
	ご住所	東京都●●市●●1-2-3 Tel. 03-0000-0000	
当該機器は、本書記載内容にもつき無料修理をお約束するものです。引き渡しの日から上記期間中に故障が生じた場合には、工事保証書(販売店または工事店)に修理をお申し出ください。			
工事保証書 販売店又は 工事店	株式会社環境○○ 東京都○○市△△1-2-3 Tel. 03-0000-0000		
製造販売元	株式会社○○環境 東京都○○区△△1-2-3 Tel. 03-0000-0000 環境		
■システム修理保証規定 1 本書、取組説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従い正常な使用状態で故障した場合には本書記載内容にもつき工事を行った工事保証書(販売店または工事店)が無料修理をいたします。 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。 1 当初本書記載の工事保証書が貼付された場所から他の場所に移設された場合。 2 敷設工事部分の故障または不適当な維持管理または改造に起因するもの。 3 本書記載の工事保証書以外で行った点検修理または改造に起因するもの。 4 地震、噴火、洪水、落雷等の自然現象に起因するもの。 5 火災、爆発、隣接等の外來事故に起因するもの。 6 指定以外の燃料の使用に起因するもの。 7 本書にシステム型式、システム保証期間、引渡年月日、お客様名、販売店名または工事店の記入のない場合。または記入の事項文字が書き換えられた場合。 8 弊社の認定を受けていない販売店(または工事店)による設置工事の場合。 本書は日本国内においてのみ有効です。 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管して下さい。 所有者が変更になったり、転居等の場合は登録の変更が必要です。販売店(又は工事店)にご連絡下さい。			

※使用者控え(お客様控え等)のコピーであること

セロハンテープで貼り付けて下さい。

※保証書の提出が困難である場合は設置した設備の販売元業者が作成した『設置した設備が新品かつ未使用品であることの証明』を提出すること。

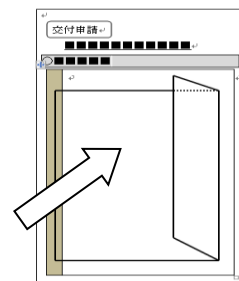
【貼り付け方法】

貼り付け欄より添付書類が大きい場合は
右端を折り曲げて貼り付けてください。

縦長の添付書類は横向きにして貼り付けてください。



※セロハンテープ



※この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とし、縦位置とする。

対象設備を設置する建物、及び対象設備から 供給される熱を利用する住宅の全景写真

申請される方は、貼り付け済みの本台紙のコピーをとり、お手元に大切に保管して下さい。

○住宅の全景写真貼り付け欄

セロハンテープで貼り付けて下さい。

※ 書類の用紙サイズが A4 でない場合は本台紙をご利用ください。

- 対象設備を設置する建物と、対象設備が供給する熱を利用する住宅が異なる場合は、それぞれの全景写真を提出してください。
- 全景写真では対象設備が写ってなくても構いません。
- 1階部分から全体が写るように撮影してください。
- 玄関正面側から建物全体を撮影した写真をご用意ください。
- 建物の立地や建築構造上、1枚に収まりきらない場合には、複数に分かれても構いません。
- 建物の全景がはっきりと分からない（日没後撮影等）場合、再度撮影を依頼する可能性があります。
- Google マップ等、web 上の地図の写しでの提出は認められません。
- その他添付する写真について、以下の点に留意してください。

※ 写真は、現像又はプリントアウトし、はがれないように貼り付けてください。

※ カラー印刷又は、カラープリント写真

※ 写真の大きさは、サービス判（L サイズ 127×89mm）以上

※ 1枚に収まらない場合は本台紙を複写して、全ての写真を添付してください。



見 本

必ず、玄関正面側から
撮影したものとしてください。

※この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とし、縦位置とする。

対象設備の設置状態を示す写真

申請される方は、貼り付け済みの本台紙のコピーをとり、お手元に大切に保管して下さい。

○対象設備 設置写真貼り付け欄

※ 書類の用紙サイズが A4 でない場合は本台紙をご利用ください。

- 設置完了後の写真を提出してください。
- 太陽熱利用システムの場合は、集熱器（集熱パネル）と蓄熱槽と補助熱源機それぞれが写っている写真が必要です。
- 地中熱利用システムの場合は、地中に繋がる熱交換器（配管）と地中熱ヒートポンプ（室外機）が繋がっていることが確認できる写真が必要です。
- 対象設備の上から日よけ等の目的でカバーを設置する場合は、カバー設置前、もしくはカバーを開けた状態で、中の対象機器がはっきり確認できるよう撮影してください。
- 写真の縦横比を変更しないでください。
- その他、添付する写真について、以下の点に留意してください。

※ 写真は、現像又はプリントアウトし、はがれないように貼り付けてください。

※ カラー印刷又は、カラープリント写真

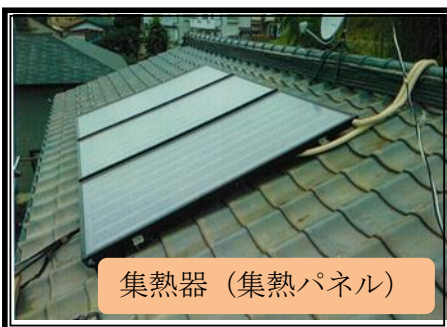
※ 写真の大きさは、サービス判（Lサイズ 127×89mm）以上

※ 1枚に収まらない場合は複数枚でも構いません。

※ 対象設備を設置した場所が分かるような写真としてください。

セロハンテープで貼り付けて下さい。

（太陽熱利用システムの例）



（地中熱利用システムの例）



※この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とし、縦位置とする。

対象設備 銘板写真貼り付け台紙

申請される方は、貼り付け済みの本台紙のコピーをとり、お手元に大切に保管して下さい。

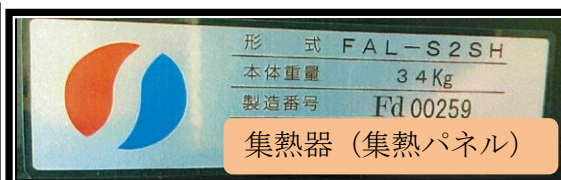
○対象設備 銘板写真貼り付け欄

※書類の用紙サイズが A4 でない場合は本台紙をご利用ください。

- 設置した後の対象設備の銘板を撮影し、提出してください。
- ※ 写真は、現像またはプリントアウトし、はがれないように貼り付けてください。
- ※ カラー印刷または、カラープリント写真
- ※ 写真の大きさは、サービス判 (L サイズ 127×89mm) 以上
- ※ 対象機器のシステム型番等がはっきりと見える写真。

<対象設備の銘板写真> ……設置台数分必要です

■太陽熱利用システムの例



- 太陽熱利用システムは集熱器 (集熱パネル) と蓄熱槽と補助熱源機が必要です。

補助熱源機 (写真)

■地中熱利用システムの例



- 地中熱利用システムはヒートポンプの銘板を撮影してください。

セロハンテープで貼り付けて下さい。

※この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とし、縦位置とする。